

第 28 回（2021 年度）全国銀行学術研究振興財団賞
＜法律分野＞

藤田 友敬 東京大学大学院法学政治学研究科教授

〔表彰理由〕

商法を中心としながらも新たに生起する法的課題までも広く深く検討対象とした業績、および「商法(運送・海商法)等」などの近時における商法改正に関する多大な貢献に対して、高い評価を得ている。

〔主要著書・編著〕

『M&Aの新たな展開』（編著）有斐閣、2020 年

『The Rotterdam Rules : the UN Convention on Contracts for the International Carriage of Goods Wholly or Partly by Sea, 2nd ed.』（共著）Michael F. Sturley, Tomotaka Fujita and G. J. van der Ziel、Sweet & Maxwell、2020 年

『M&A 契約研究－理論・実証研究とモデル契約条項』（編著）有斐閣、2018 年

『自動運転と法』（編著）有斐閣、2018 年

『ソフトローの基礎理論（ソフトロー研究叢書 第 1 巻）』（編著）有斐閣、2008 年

〔主要論文等〕

「取締役会の監督機能と取締役の監視義務・内部統制システム構築義務」尾崎安央＝川島いづみ＝若林泰伸編『上村達男先生古稀記念 公開会社法と資本市場の法理』所収、商事法務、2019 年

「株式買取請求権をめぐる諸問題－会社法制定後 10 年の経験を経て」黒沼悦郎＝藤田友敬編『企業法の進路－江頭憲治郎先生古稀記念』所収、有斐閣、2017 年

「信託法における受託者の責任－株式会社の役員との対比において」『商事法の新しい礎石 落合誠一先生古稀記念』所収、有斐閣、2014 年

「支配株式の取得と強制公開買付－強制公開買付制度の機能」岩原紳作＝山下友信＝神田秀樹編『会社・金融・法』所収、商事法務、2013 年

「裁判過程における実証分析の利用：株式買取請求事件を素材に」ソフトロー研究 20 号、2012 年

以上